
あかつき証券(株) 2023年3月期 第2四半期 決算説明

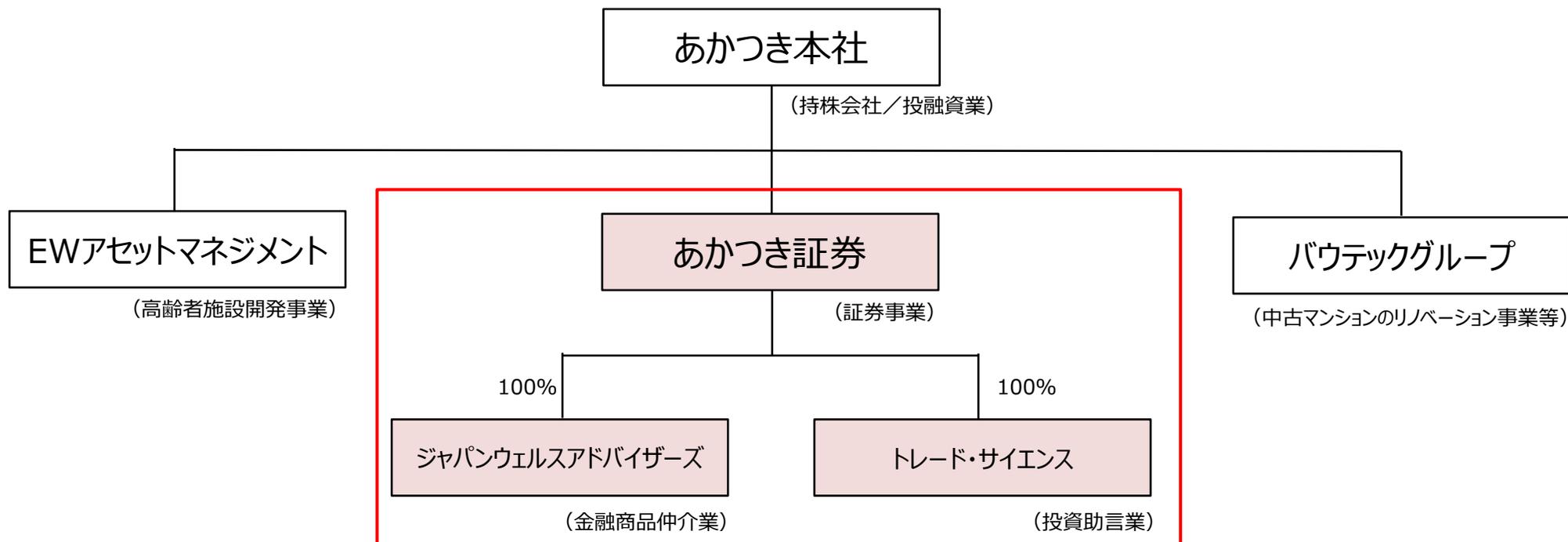
本資料は、2023年3月期第2四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2022年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

1. 2023年3月期 第2四半期 決算概要

◆ (参考) 連結対象について

■ あかつき本社グループ構成図 (2022年9月末現在、主要グループ会社のみ記載)



- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2021年2月にグループ会社の「トレード・サイエンス株式会社」を完全子会社化。

◆2023年3月期 第2四半期決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は**3,783億円（前期末比0.2%減）**と横ばいになったが、この内、IFA部門の預り資産残高は**2,040億円（前期末比11.3%増）**と過去最高の預り資産残高となった。また、契約仲介業者外務員数も**1,342名（前期末比+157名）**と増加した。
- ✓ 営業収益は**4,879百万円（前年同期比25.2%減）**となった。株券委託手数料および投資信託販売手数料の増加により受入手数料は**1,573百万円（前年同期比33.3%増）**となったが、債券販売額が減少したことによりトレーディング損益が**3,274百万円（前年同期比38.3%減）**となり、全体として減収となった。
- ✓ 販売費・一般管理費は**4,897百万円（前年同期比19.7%減）**となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が3,336百万円と前年同期比26.6%減少した一方、固定費は1,560百万円と前年同期比5百万円の増加にとどまった。
- ✓ 営業利益は△**31百万円**、当期純利益は投資ファンドの利益等で33百万円を計上し**16百万円（前年同期比94.5%減）**となった。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

2. 2023年3月期 第2四半期決算（連結）について

◆ 営業損益の状況

- ✓ 当社100%子会社の金融商品仲介業者であるジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社、トレード・サイエンス株式会社を含む連結ベースでは、営業収益4,879百万円（前年同期比△1,642百万円 △25.2%）、営業利益△31百万円（同△433百万円）、当期純利益16百万円（同△280百万円 △94.5%）となった。
- ✓ 前年第4四半期からのマーケット環境の低迷により、継続的に広告宣伝費や販促費等の経費を見直した結果、第2四半期単独では営業利益86百万円、当期純利益64百万円と黒字に回復した。

（単位：百万円）

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	6,521	4,879	△25.2%	△1,642
純営業収益	6,504	4,866	△25.2%	△1,638
販売費・ 一般管理費	6,102	4,897	△19.7%	△1,204
営業利益	402	△31	-	△433
経常利益	426	0	△99.9%	△426
特別損益	△3	△0	-	2
税引前当期純利益	422	△0	-	△423
法人税等合計	125	△16	-	△142
当期純利益	297	16	△94.5%	△280

（単位：百万円）

2022年3月期				2023年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
3,046	3,474	3,227	2,178	2,355	2,523
3,038	3,466	3,221	2,173	2,352	2,513
2,851	3,250	3,089	2,309	2,470	2,427
186	215	131	△136	△117	86
201	225	133	△145	△97	98
△3	-	-	-	△0	△0
197	225	133	△145	△97	97
54	71	49	△108	△49	32
142	154	83	△36	△48	64

◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は、1,573百万円（前年同期比+392百万円 +33.3%）と増収となった。
- ✓ 株券委託手数料は、949百万円（同+166百万円 +21.2%）と増加した。募集・売出し手数料は、投資信託販売の増収（同+149百万円 +169.6%）により、333百万円（同+143百万円 +75.2%）と増加した。

（単位：百万円）

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	1,180	1,573	33.3%	392
委託手数料の主な内訳				
株券	783	949	21.2%	166
募集・売出し手数料の主な内訳				
債券	100	92	△7.0%	△7
投資信託	88	238	169.6%	149
その他の受入手数料				
信託報酬	59	73	23.3%	13
アドバイザー報酬	-	10	-	10

（単位：百万円）

2022年3月期				2023年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
585	594	704	728	716	857
委託手数料の主な内訳					
377	406	486	483	438	511
募集・売出し手数料の主な内訳					
63	36	20	36	43	49
44	43	56	66	102	135
その他の受入手数料					
30	29	29	32	31	42
-	-	9	-	-	10

◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、3,274百万円（前年同期比△2,036百万円 △38.3%）と減収となった。
- ✓ IFA部門、リテール部門の債券販売高が減少したことで、債券トレーディング損益が3,204百万円（同△1,958百万円 △37.9%）となった。

（単位：百万円）

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株券	147	69	△53.0%	△78
債券・為替等	5,162	3,204	△37.9%	△1,958
（債券等）	5,096	3,168	△37.8%	△1,928
（為替等）	66	36	△44.9%	△29
合計	5,310	3,274	△38.3%	△2,036

（単位：百万円）

2022年3月期				2023年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
86	61	78	19	29	39
2,360	2,802	2,427	1,416	1,597	1,607
2,315	2,781	2,399	1,399	1,578	1,589
44	21	28	17	18	17
2,446	2,863	2,505	1,436	1,627	1,646

◆部門別純営業収益推移

【リテール部門】

✓ 部門収益は939百万円(前年同期比△397百万円 △29.7%)と減収となった。主な内訳として、国内株券委託手数料が55百万円(同+15.7%)の増収となった一方、債券トレーディング損益が454百万円(同△82.7%)の減収、外国株券トレーディング損益が62百万円(同△52.2%)の減収であった。

【IFA部門】

✓ 部門収益は3,836百万円(前年同期比△1,241百万円 △24.5%)と減収となった。主な内訳として、国内株券委託手数料が124百万円(同+70.3%)の増収、外国株券トレーディング損益が36百万円(同+18.6%)の増収となった一方、債券トレーディング損益が1,522百万円(同△32.7%)の減収であった。

(単位：百万円)

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
純営業収益計	6,504	4,866	△25.2%	△1,638
リテール	1,336	939	△29.7%	△397
IFA	5,078	3,836	△24.5%	△1,241
その他	89	90	1.2%	1

(単位：百万円)

2022年3月期				2023年3月期	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
3,038	3,466	3,221	2,173	2,352	2,513
731	604	567	479	452	486
2,264	2,813	2,597	1,650	1,856	1,979
41	48	56	43	43	47

※IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

◆販売費・一般管理費

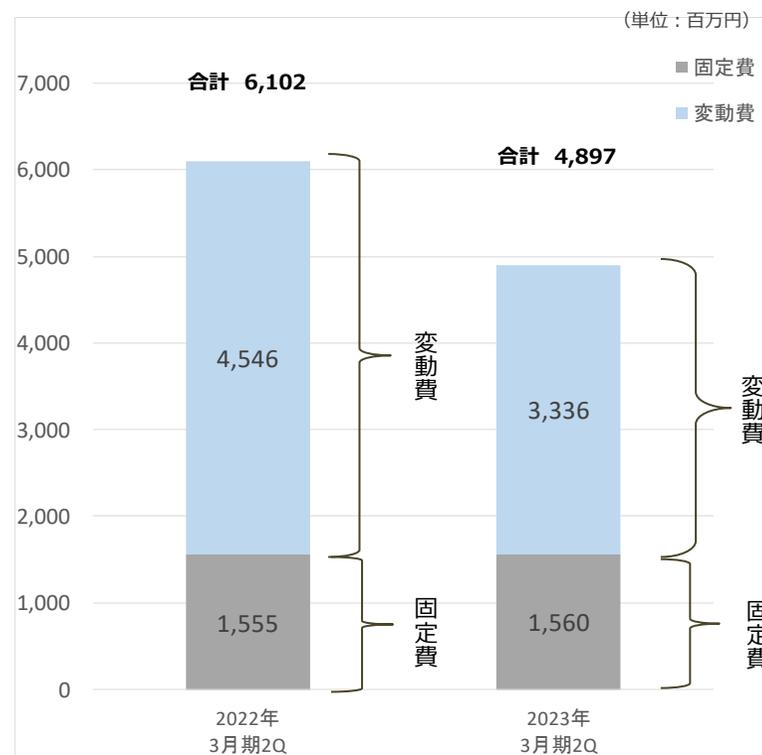
- ✓ 販管費は、4,897百万円（前年同期比△1,204百万円 △19.7%）と減少した。
- ✓ 固定費は横ばいとなる一方で、IFAの支払報酬についてキャンペーン費用等を見直したことで、変動費が1,210百万円減少したことが主な要因。

(単位：百万円)

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	4,091	3,103	△24.2%	△988
人件費	1,400	1,183	△15.4%	△216
不動産関係費	198	218	10.2%	20
事務費	301	276	△8.4%	△25
減価償却費	43	55	26.1%	11
租税公課	31	27	△12.4%	△3
雑費その他	35	33	△6.3%	△2
販売費・一般管理費計	6,102	4,897	△19.7%	△1,204

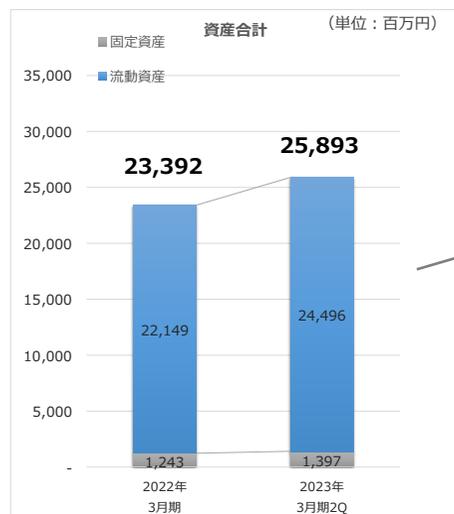
(単位：百万円)

	2022年 3月期2Q	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	1,555	1,560	0.4%	5
変動費	4,546	3,336	△26.6%	△1,210



◆貸借対照表及び財務の状況

貸借対照表



流動資産+23億円

- 主な増減要因
- ・預託金の増加
 - ・信用取引資産の増加



流動負債+24億円

- 主な増減要因
- ・預り金の増加
 - ・短期借入金の減少

財務の状況

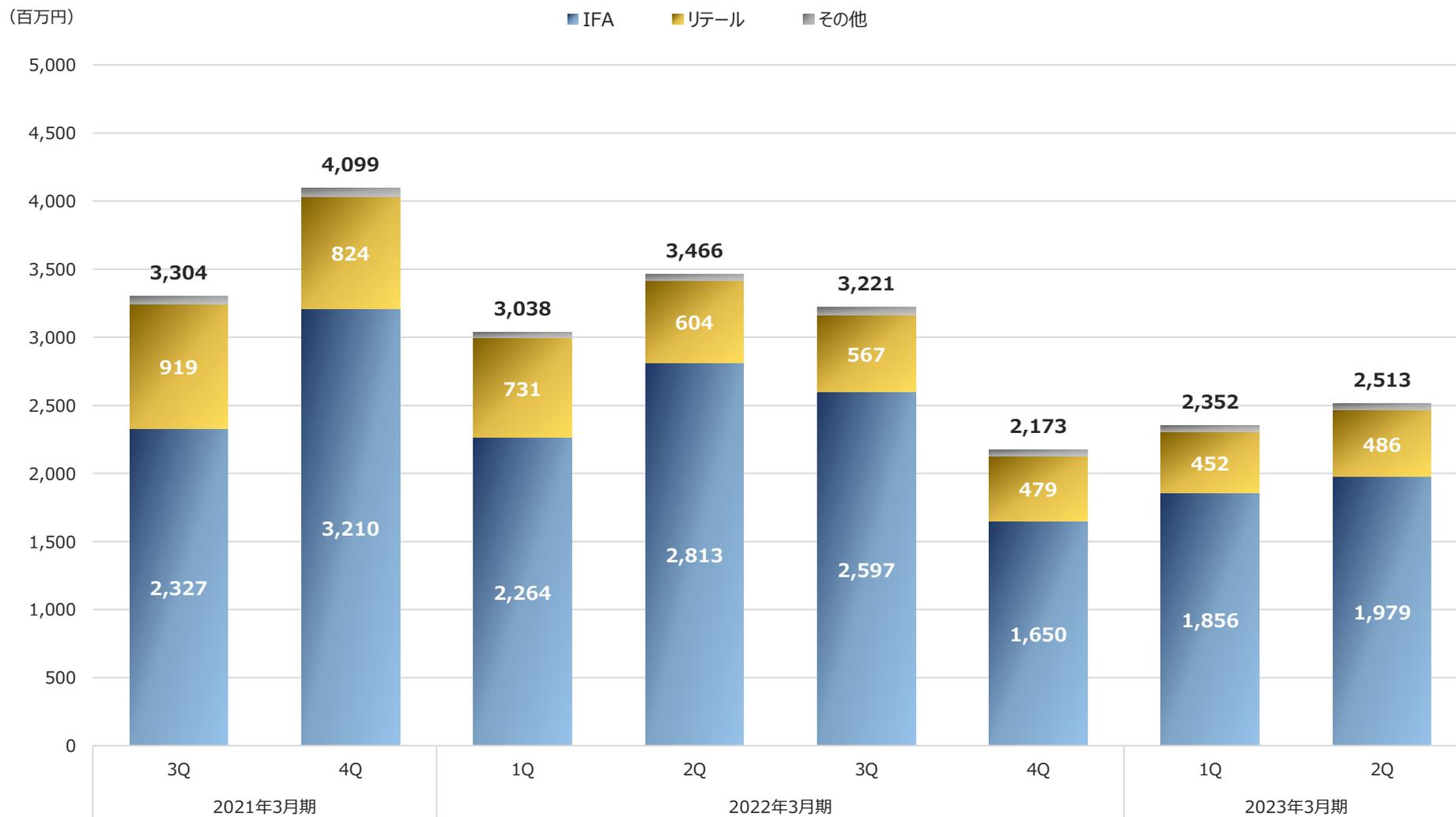
	2022年 3月期	2023年 3月期2Q	前期比 増減
自己資本比率 (%)	27.4%	24.8%	△2.6%
1株あたり純資産 (円)	162.25円	162.67円	0.41円
自己資本規制比率 (%)	468.3%	456.4%	△11.9%

	2022年 3月期	2023年 3月期2Q	前年同期比 増減
1株あたり純利益 (円)	8.70円	0.41円	△ 8.29円

3. 業績の推移について

◆純営業収益の推移（部門別）

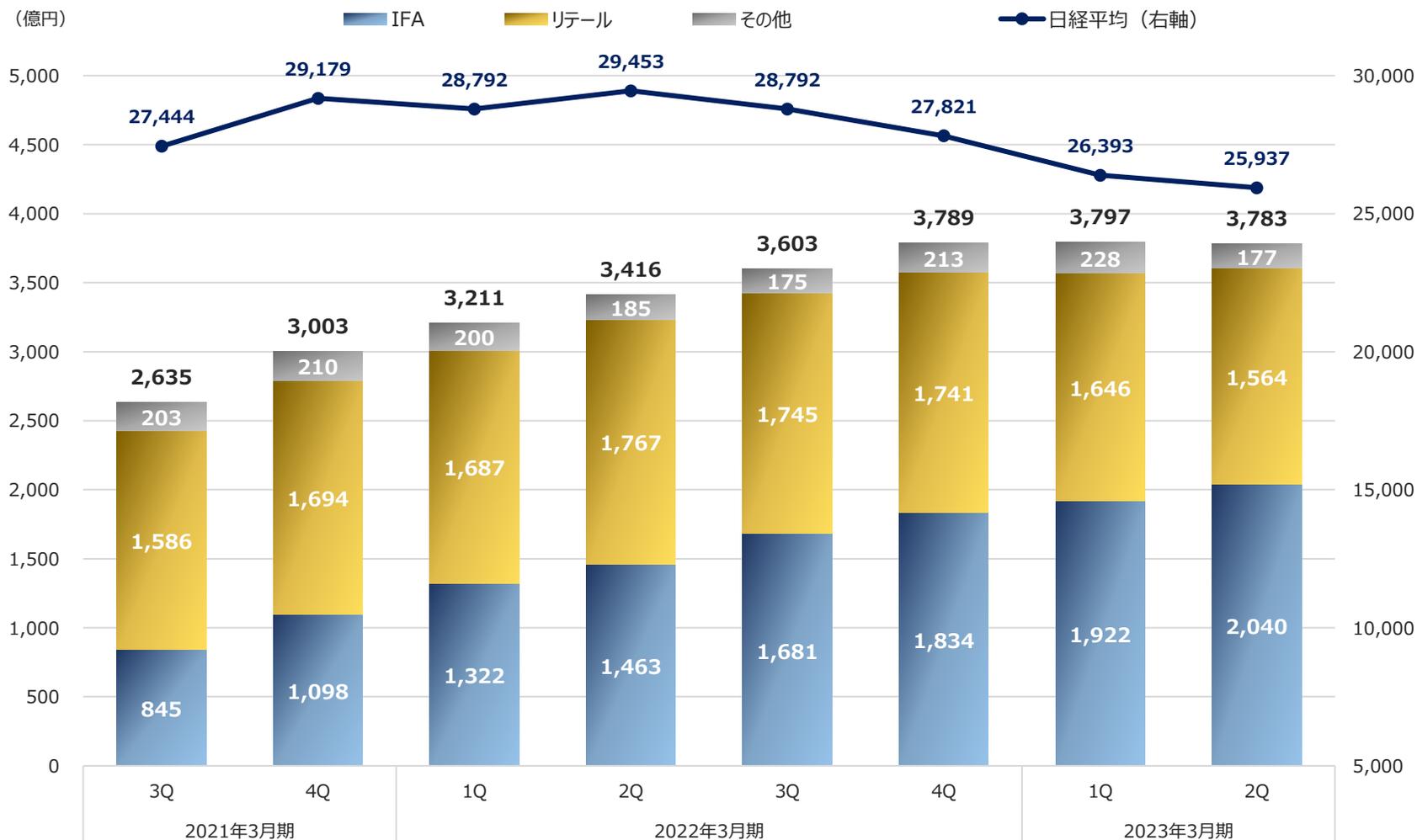
✓ 当第2四半期における当社の純営業収益は2,513百万円となり、前四半期に比べ増益となった。



※IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

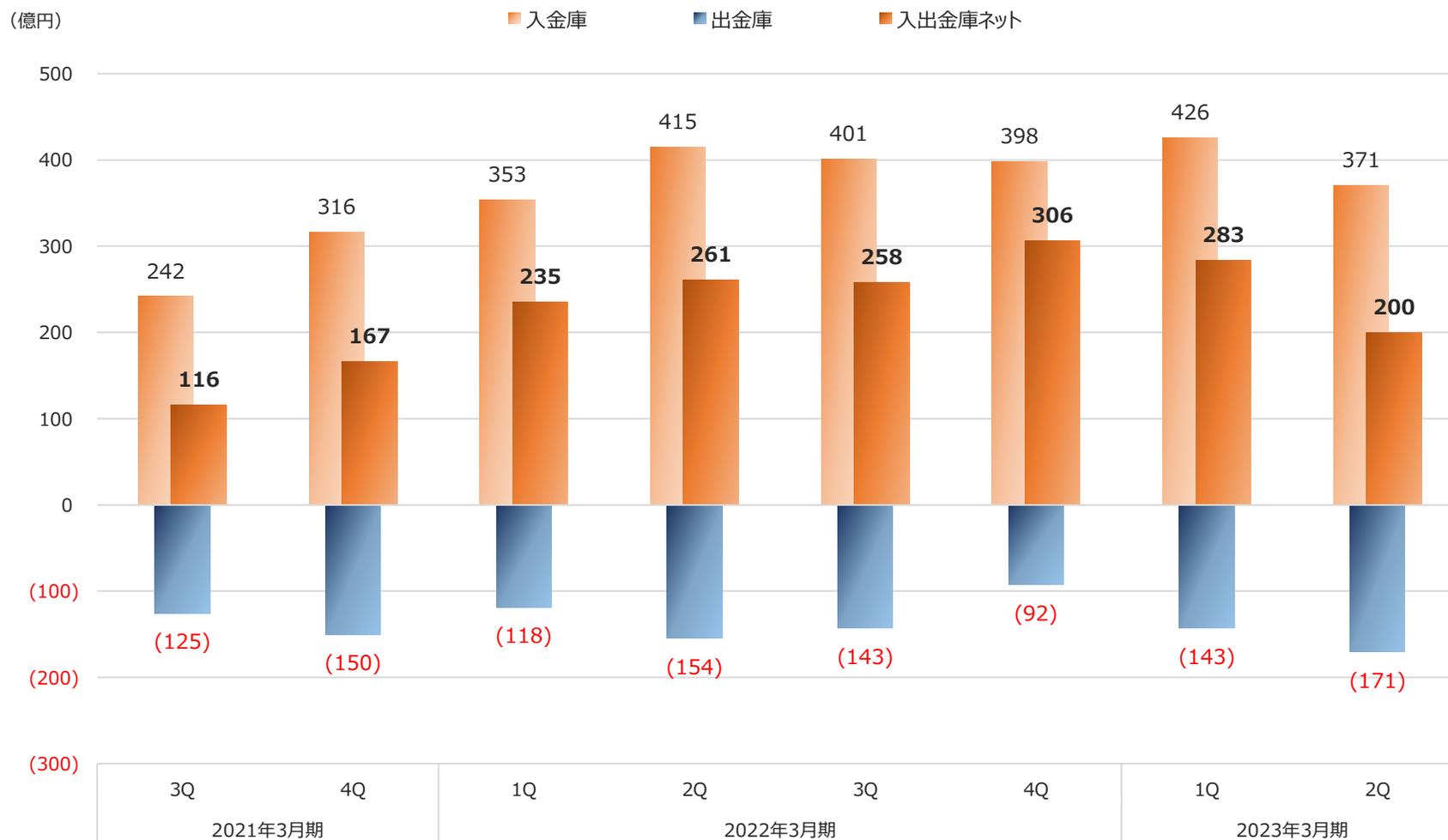
◆ 預り資産残高の推移（部門別）

✓ マーケット環境の低迷による時価下落の影響は続いているが、預り資産残高は、IFA部門の伸びにより堅調に推移している。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。
IFA部門とリテール部門の内訳は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

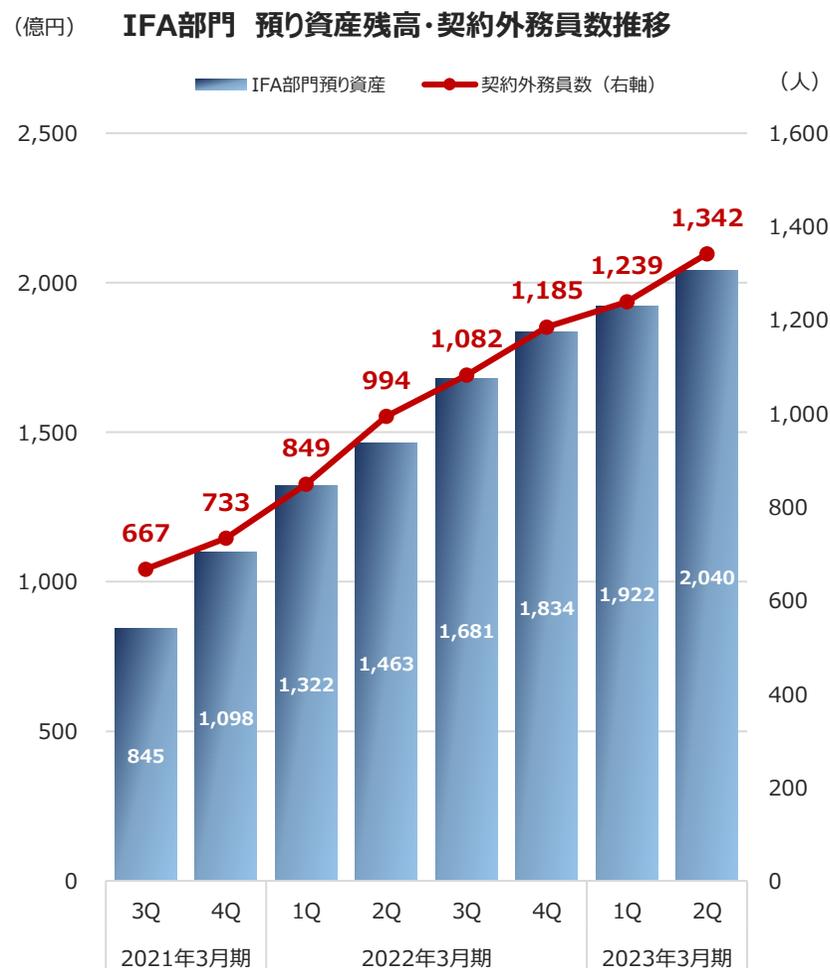
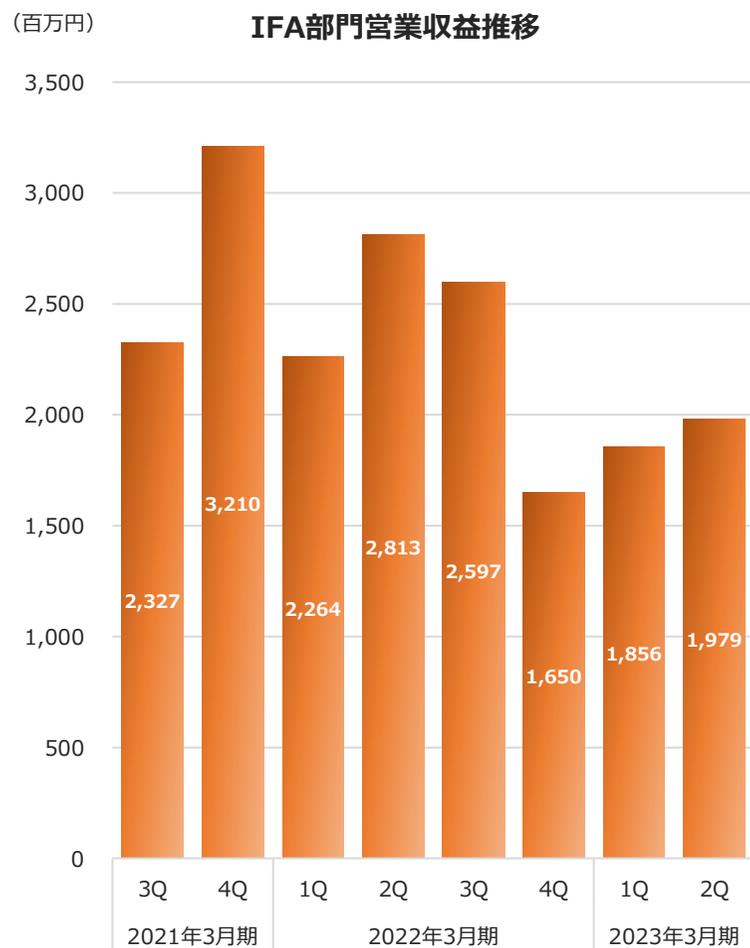
◆入出金庫額の増加



※顧客から当社への入金と入庫の金額から、出金と出庫の金額を差し引いたもの

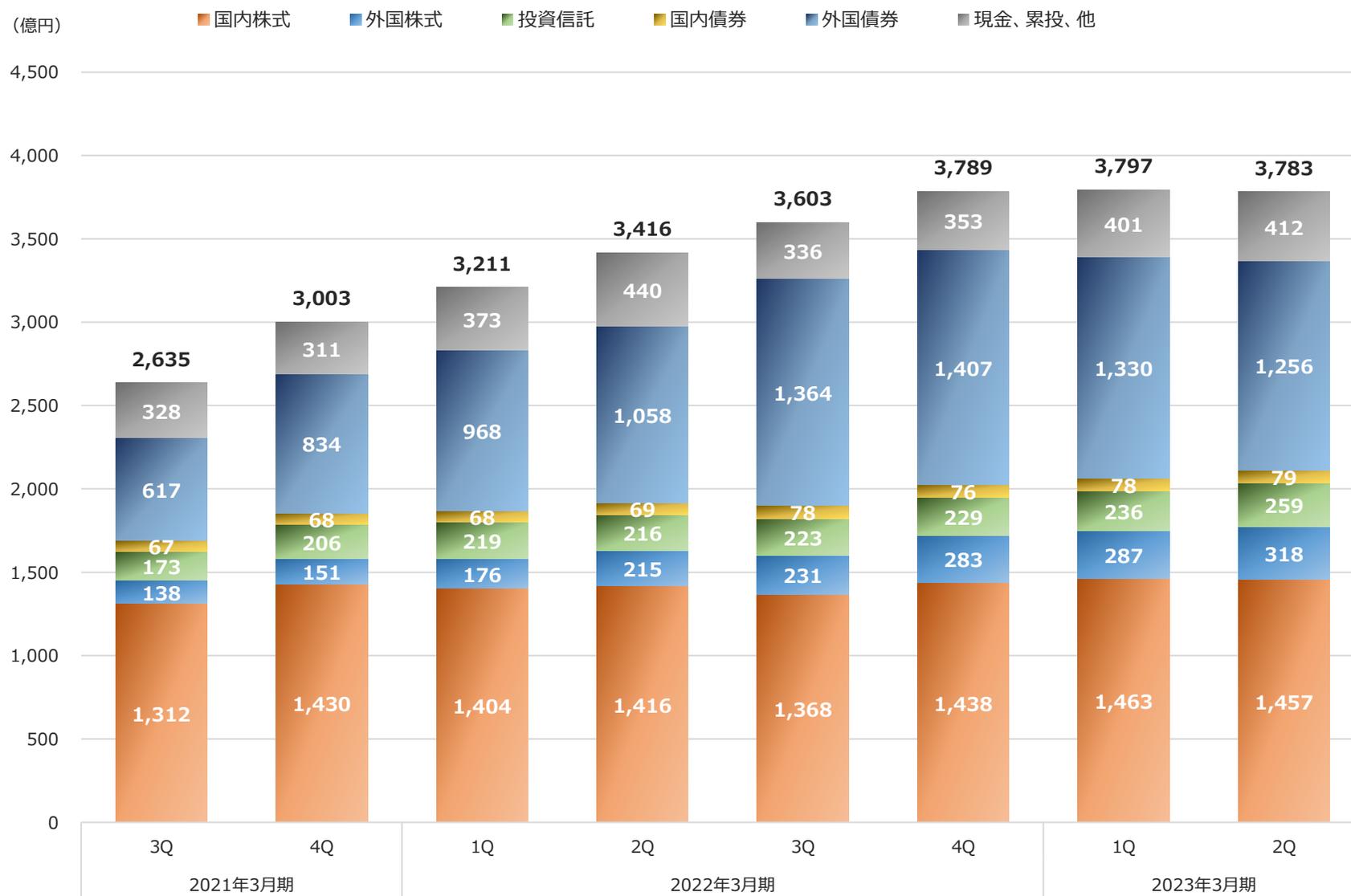
◆金融商品仲介（IFA）ビジネスについて

- ✓ 当第2四半期のIFA部門の営業収益は1,979百万円（前四半期比+123百万円 +6.6%）と、2022年3月期第4四半期を底にして回復基調にある。契約仲介業者外務員数は1,342名（同+103名）、IFA部門預り資産残高※は2,040億円（同+118億円）と順調に拡大している。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。IFA部門の実績は、2022年4月の当社とジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社との組織改編を反映しております。

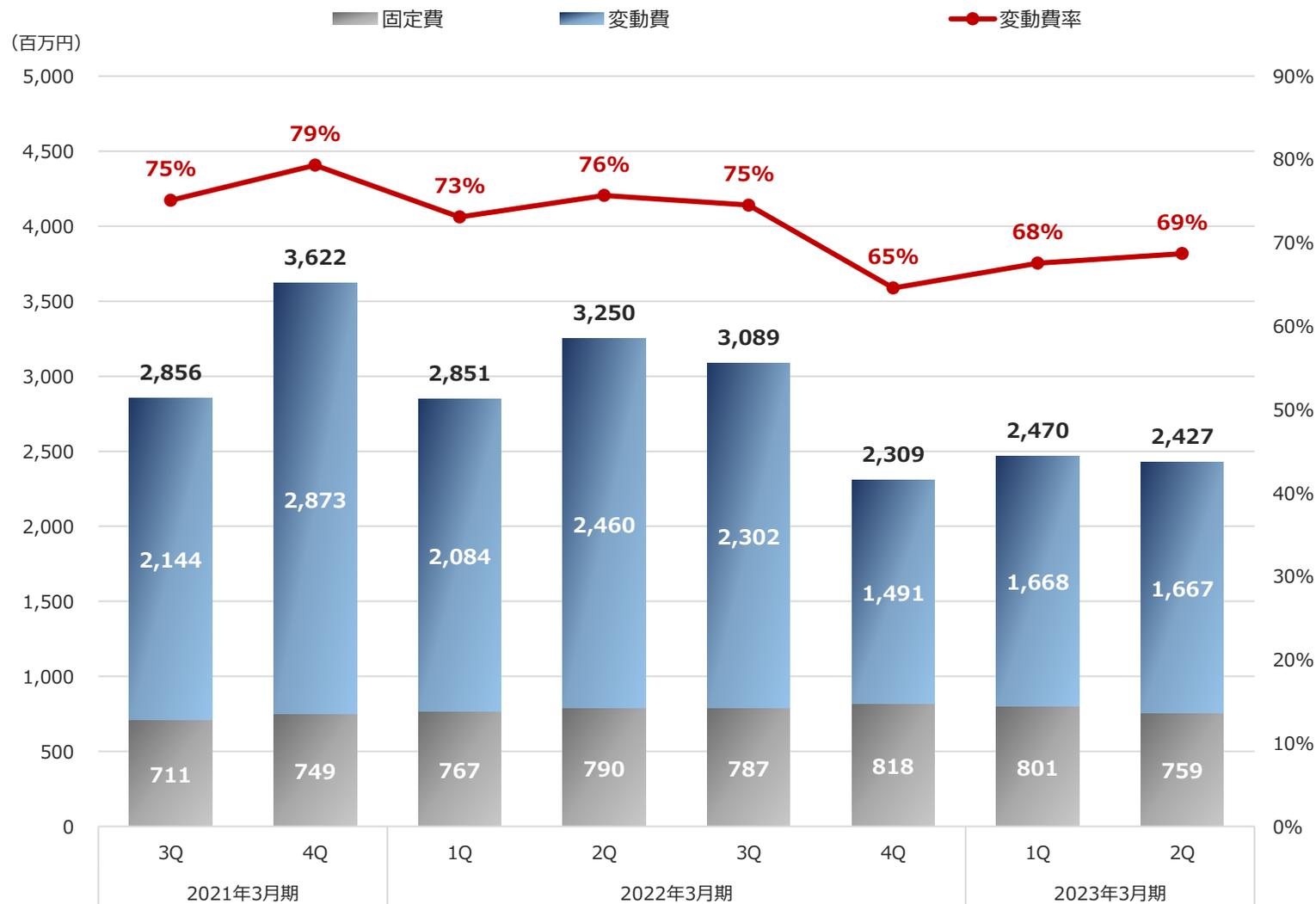
◆ 預り資産残高の推移 (商品別)



※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆ 販管費及び変動費率の推移

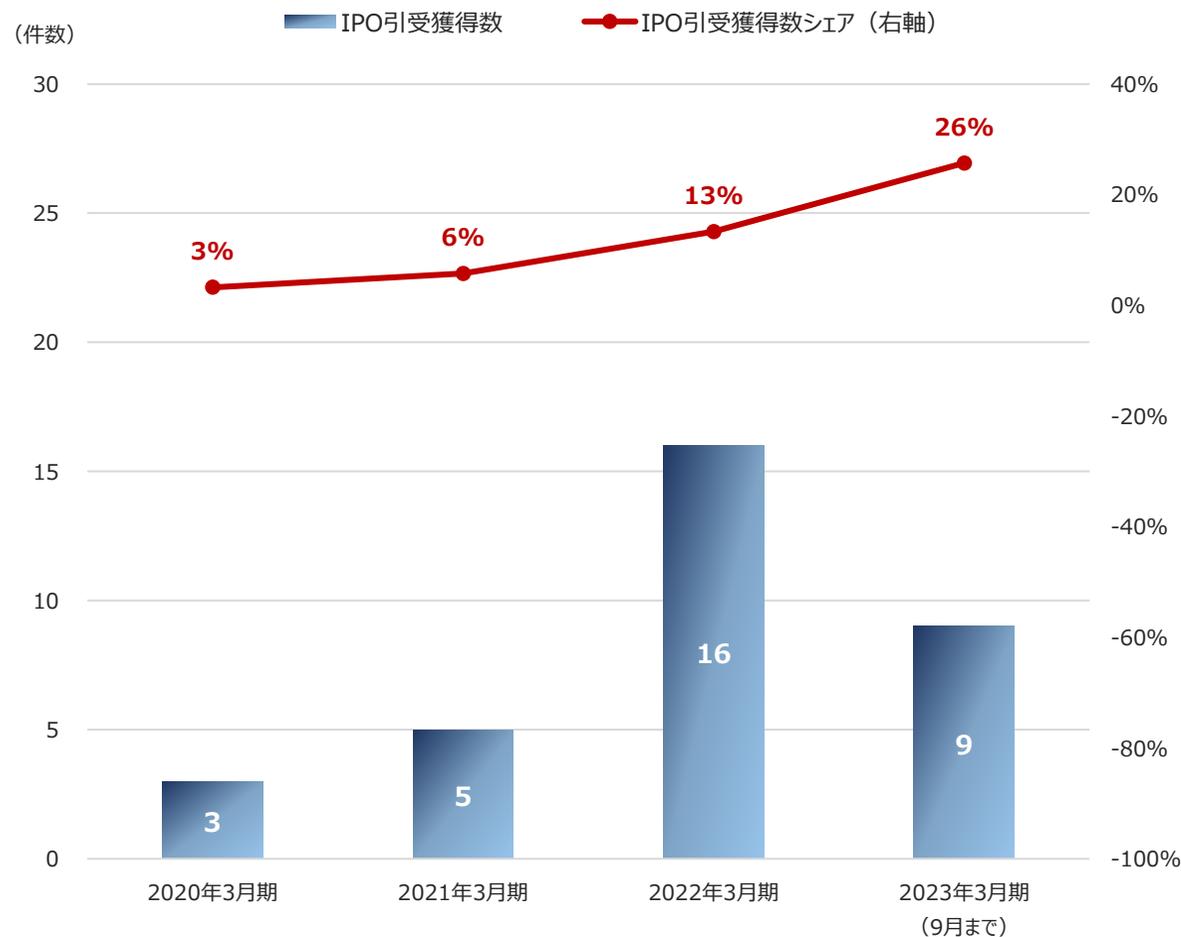
- ✓ 当第2四半期における当社の販管費は2,427百万円となり、販管費に占める変動費率は69%と引き続き高水準を維持している。うち固定費の減少（前四半期比△42百万円）は、継続的な広告宣伝費等の見直しによる。



◆ IPO市場への取り組み

➤ IPO市場での引受獲得数シェアの上昇

投資銀行部門はベンチャーファンドを通じたIPO展望企業へのシードマネーの供給や、独自の営業リレーションをつかって引受に参画。当第2四半期は市場全体でのIPO35社のうち当社獲得件数は9社、シェアは26%と前期比+13%上昇した。



◆2023年3月期 上期トピックス

➤ 新CRMリリース（10月）

当社営業員・提携IFA外務員が利用する顧客管理システム（CRM）について、全面リニューアルを行い10月3日にリリースを実施。米国で高く評価されているアドバイザーソリューションである「アドバイゾン（Advyzon）」の日本展開を始めとして、IFA向けのサービス提供の知見が高いSCSK株式会社（東証プライム市場上場 9719）と提携しシステムを開発。当社提携IFAから細かなニーズをヒアリングし、利便性の高い顧客管理機能や文書管理機能を実現。

加えて、本CRMにIFAポータル機能を融合させ、一元的なIFA向けプラットフォームへ機能を強化することについても現在開発中であり、2023年1月のリリースを予定。

➤ 地域金融機関との業務提携を積極的に推進（4月）

地域金融機関との金融商品取引に関する顧客紹介の業務提携を積極的に推進、4月に「関信用金庫（本店：岐阜県関市、理事長：櫻井広志）」、及び「芝信用金庫（本店：東京都港区、理事長：望月芳雄）」と提携し、今期2行の地域金融機関と提携契約を締結。

➤ 本社オフィスの増床（4月）

事業拡大に伴う従業員の増加と一層の業務効率化を図るため、2022年4月18日より本社オフィスを増床。

【本社オフィスを増床した住所】

東京都中央区日本橋小網町17番10号 日本橋小網町スクエアビル5階

◆本資料に関して

本資料は、2023年3月期第2四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は2022年9月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



本 社：東京都中央区日本橋小舟町8-1
商 号 等：あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先：あかつき証券株式会社 財務経理部
TEL：03-5641-7800
URL：<https://akatsuki-sc.com>